



題字 初代理事長 弓場 敏 男

ランニングバイク選手権 史上初の砂浜コースが登場 砂浜を疾走する特設コースが登場



武者姿で挨拶を行う村上力理事長

2016年6月26日(日) 因島アミニティ公園にて「ランニングバイク選手権 in いんのしま2016」を開催しました。当日は梅雨の晴れ間の青空の下、西日本各地から2歳から6歳までの約150名のちびっ子ライダーが集まり激戦を繰り広げました。今年で4回目となる本大会は、瀬戸内の豊かな自然に恵まれたこの地域の魅力を大会を通じて多くの方に知っていただき、感じていただくこと

で因島を好きになってもらい、ひいては因島のファンになってもらうことを目的として開催しました。今大会では、新たな試みとして因島の魅力を肌身で感じられる「砂浜コース」を特設。瀬戸内の潮風を感じながら元気いっぱい砂浜を駆け抜ける子ども達のレースは地域の新たな魅力として付け加えられたかと思えます。また、決勝レース前には水軍武者の吹く法螺貝で盛り上げて頂くなど、自然や文化など様々な因島地域の魅力を肌で感じる事が出来る大会となり、参加者や保護者からは、「砂浜で(レース) 走れると思わなかった」「子どもの笑顔と潮風が心地よく最高の一日になった」「因島って素敵な島ですね」などといった嬉しい言葉も聞



▶ 因島の潮風を感じる史上初の砂浜コース



▶ 大迫力のスタート

くことが出来ました。今後也因島青年会議所は、市民や行政、他団体と共に手を携えて、次代を担う若者としての自覚をもってエネルギーシシユなまちづくり事業を推進してまいります。最後になりますが、当大会にご後援とご協賛頂きました各団体、大会運営をお手伝い頂きましたボランティアの皆様、ブース出店にご協力頂きました方々に厚く御礼申し上げます。

広島ブロック大会を主管 県内12の青年会議所会員が集う

2016年9月11日(日) 因島市民会館にて「志の共有」地域を愛する心をつなぐをテーマに会員と一般市民の皆様と共に地域を愛する心を育み、地域の人々が主体的に社会参画する気概の醸成を目的に第46回広島ブロック大会を開催しました。因島では10年ぶりの開催となる本大会では、より高い公益性を重視し、私たち自身が地域社会の一員として市民に共感を広げると共に、各地域でのまちづくりのヒントを発見する機会として、「地域色を活かした説得力ある運動」を発信しました。メインフォーラムでは、講師に吉本興業株式会社 副社長



▶ ザ・ぼんちによる漫才



▶ 県内12の青年会議所登壇の様子

戸田義人様をお招きして映画を利用した地域プロモーションの取組みについてのご講演と漫才ブームの立役者である「ザ・ぼんち」による漫才が行われました。「地元が元気になるなら、日本は元気にならない」をモットーにわかりやすく講演が行われ、会場は笑いに包まれ大盛況のうちに幕を閉じました。本大会を通じて、地域の発展という同じ志を持つ、青年会議所会員と地域の人びとが共に心と心をつなぎあい「豊かな地域社会の再興」に向けて歩み出すきっかけとなりました。

因島の魅力ってなんだろう？ 観光客や在住者200名からアンケート

2016年10月18日(火)
ホテルいんのしまにて「The
魅力会議！〜未来へ向けて確
かな一歩〜」をテーマに10
月例会を開催しました。

本例会では、開催前に因島
の魅力発信委員会が200名
の地域住民・観光客に、因島
の魅力・課題に対する意識調
査アンケートを実施し、その
結果をもとに、これからのま
ちづくりにはどのような視点
・事業が必要になるか意見交
換を行いました。

観光客からの返答では、因
島の「景色・景観」が魅力に
感じているとの意見が多く、

その一方で「情報発信不足、
もったいない！」と言った声
も聞かれました。

多くの人をひきつけるには、
因島の魅力を増やし、それを
高めていくことが必要です。

人がわざわざその地を訪れる
のには、そこできか体験出来
ないものがあるからです。こ
れからの魅力づくりは、他の
まねではなく、地域のもつ自
然や歴史、文化などを活かし
ながら新たな価値を創造・発
信していくことが重要だと感
じました。

アンケート調査にご回答い
ただきました皆様には、ご多

忙にもかかわらず、ご協力い
ただき誠にありがとうございます
でした。皆様からお寄せいた
だいた貴重なご意見・ご要望
は、ぜひとも今後の活動への
参考とさせていただきます。



▶ 10月例会の様子

後継者育成セミナー開催

2016年8月18日(木)

因島商工会議所4階大ホール
にて「後継者という経営者の
仕事」をテーマに講師に株式
会社アイムサプライ 代表取
締役 伊豆田功氏をお招きし
8月例会を開催しました。

本例会では、まず創業者と
後継者の違う点と違わない点、
次に若手経営者に必要な良い
錯覚と捨てるべき錯覚、最後
に後継者から経営者になる
ために今やるべきことの3ス
テップにてご講演を頂き、後
継者の多い我々青年会議所会
員にとって非常に身に染みる
内容となりました。

講演において、挑戦し続ける
事の大切さを改めて認識する
事の出来た非常に学びの多い
有意義な例会となりました。
また本例会は、私たちと同
世代の地域の若手後継者にも
参加して頂き、共に学び、交
流を深めることが出来ました。



▶ ご講演中の伊豆田功様

アンケート結果

地域住民100人に聞いた！

Q. 因島の魅力向上の為、より力をいれるべきだと思うのはどんなことですか？

- サイクリングロードのさらなる整備(道の拡張・草抜き等)
- 因島近辺の特産物がすべてがそろった道が必要ではないか?
- 宿泊施設の充実が必要では?(簡易・格安施設などの充実)
- 村上海賊関連の観光施設の充実をもっと行わなければならない
- 世界・日本に向けた情報発信をもっと活発に行っていくこと
- サイクリングで来られる方へ向けたおもてなしの精神が必要
- アメニティ公園に飲食できるスペースや大型遊具の設置が必要
- 停留している漁船を宿にする取り組みなど地域性を活かし、地域独自の特色のある取組みを行わなければならないと思う
- 通過するだけではなく、因島を目的地とする何かが必要である
- 土生にまでブルーラインを引いて、サイクリストを呼び込む
- オフシーズンに観光客を取り込める仕組みと取り組みを行う
- レトロな街並み(レトロ感)をもっと発信すればよいと思う
- 地場産業や農業などを全国へ向けもっと発信するべきである
- 鏡浦や棕浦を若者のアイデアで観光地にして観光客を呼び込む

観光客100人に聞いた！

Q. 因島に不足しているものはどのようなものだと思いますか？

- 因島の中に道の駅があれば観光客をさらに呼び込めると思う
- 観光に来た人がゆっくりできる場所をもっと欲しい(休憩所)
- 案内標識が他より異常に少ない(他の観光地では考えられない)
- ゲストハウスがあれば利用するのは是非とも整備して欲しい
- 地元特産の食材などが食べられる飲食店などももっと欲しい
- 食事処が少ない不便である(特に日曜日に休みの店が多い!)
- 因島内にはアート・文化発信系の施設が殆ど無いので欲しい
- 基本的に情報量が少ないので、もっと活発的に発信するべき
- 観光客と地域の人と交流できるイベントがあれば是非欲しい
- 橋を降りたところにサイクリスト向けの休憩所が是非欲しい
- アメニティ公園は遊具などコンテンツを増やせば子連れはもっと訪れてくると思うので、さらなる充実をはかって欲しい
- 農業体験・漁業体験が出来るような仕組みや施設等が欲しい
- キャンプ場があるが、もっと設備の整ったキャンプ場が欲しい

例会報告

1月「考勤の基準」～おもてなし～

講師:(株)サンクレア 代表取締役 細羽 雅之様

2月「新たな魅力創造!!」～地域資源の有効活用～

講師:(株)プラス 代表取締役 酒井 裕次様

(ブランディングを学ぶ例会)

3月「考動力」～明るく元気な人財づくり～

講師:(有)ライフベストテクノ 代表取締役 長濱 敏朗様

4月「わしがやらねば誰がやる」

～真のリーダーになるために～

講師:(社)脳力開発機構 代表理事 武田 康裕様

5月「心ひとつに」～勝利に向かって一致団結～

(スポーツ例会)

6月「ランニングバイク選手権いんのしま2016」

7月「チカラあわせ一歩前へ」

8月「後継者という経営者の仕事」

講師:(株)アイムサプライ 伊豆田 功様

9月「挑戦!そして実現」～Smiles for all～

10月「The 魅力会議!」～未来へ向けて確かな一歩～

11月「相手に思いを伝える発声を学ぶ」

講師:vocal school CRoom 代表 Meggy様

シンガーソングライター 石川 真帆様

(竹原青年会議所との合同例会)

12月「志の継承」～更なる飛躍の為に～ (卒業例会)

新理事長挨拶



平素より一般社団法人因島青年会議所に対し、皆様より賜りましてありがとうございます。

創始以来「明るい豊かな社会の構築」を目指し、先輩諸兄が時局の課題に真摯に向き合い、「まちづくり」、「ひとづくり」を中心として活動してまいりました。

2017年度は、スローガンを「一丸 変わらないために変わる。」を掲げ、活動を展開して参ります。

未来を見据えた「まちづくり」を推進し、その活動がいつか価値のあるものになると信じて、未来の子ども達のために全力を尽くします。

当青年会議所は、2018年度には創立50周年を迎えます。大きな節目を前にし、今一度歴史の重みを受け止め継承し未来を見据えた視点で会員一丸となって歩んでまいります。

未来の明るい因島の実現の為、皆様方の一層のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

2017年度第50代理事長
相方 佑斗

2017年度新委員長紹介



本年度、男気UP!! 総務委員会委員長を務めます村上 佑太と申します。

本年度の因島青年会議所は、2008年度入会の3名の会員が卒業され、入会歴の浅い会員の割合が増え組織の体制や雰囲気が一変される中、今後も地域から必要とされる組織であるためには、今まで以上に会員が同じ方向を向いて一丸となり、更に結束力のあつた強靱な因島青年会議所を築いていく必要があります。

因島青年会議所は、大きな組織ではありません。だからこそ仲間との結束が必要であり、全ての事に対して他人事ではなく、自分の事として考える事が大切です。「自分の委員会の担当だから」「今日の事業は自分の委員会の担当ではないから」という言葉が出てくるのは、より良い事業など行えませんか。「みんな協力してやろう」「理事長を男にしてやろうぜ」「力を見せようぜ」という男気溢れる言葉が全員から聞けるような組織にならなければいけないと考えます。

そこで本委員会では、会員同士が更につながり合い、笑顔

で楽しく活動ができる組織の基盤を強化するとともに、思いやりの精神を持ち全力で自分の役割を全う出来る人材の育成を行うことで、更なる結束力のある男気溢れる強靱な組織力の向上を目指し取り組んでまいります。一年間、どうぞ宜しくお願いします。

本年度、因島委員会の委員長を務めます窪田 恵介です。

LOVE因島委員会は、年間事業目標を「地域の人達と協働で因島の魅力をさらに高めるまちづくりを行うこと」で人々を魅了し、因島を愛する人が増えることを目指す。として、活動を行ってまいります。

私にとつての地域愛とは、地域の魅力を知り愛することです。地域愛は、人々のまちづくりへの意識を変えるものであり、明るい豊かなまちになるために必要不可欠です。因島の魅力を探り触れることで、それが因島を愛することにつながると考えます。

多くの人達に因島を好きになってもらうために因島青年会議所会員と多くの人達が因島を愛する想いを一つにして魅力を持共有していくことが必要だと思っております。



本年度、因島委員会の委員長を務めます窪田 恵介

2016年度新入会員の大橋建彦です。因島青年会議所に入会させていただいて早1年が経ちました。仕事は、生名で居酒屋を営んでおります。

因島に知り合いが少なかったのですが、この1年で多くの方と交流する事が出来ました。

2017年度のマイスローガンを「早い決断力、早い行動」として、積極的に青年会議所活動に取り組んでいきたいと思っております。



おはし たけ ひこ 大橋 建彦

生年月日 1983. 3. 12
年齢 33才
勤務先 おかえりなさい

新入会員紹介

因島で住み暮らすことへの誇りや喜びを認識してもらうために、まちづくりを地域の人達と協働で行い、因島内外の若者を中心とした幅広い世代の方々に、地域の魅力を力強く発信する事業を実施したいと考えています。

まだまだ未熟ですが皆様と一緒に、頑張っていきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

卒業生挨拶

2016年12月31日を持って沢野貴士君、巻幡臣持君、小林晃和君が9年間の在籍を終え、満期退会いたしました。



ふるさとを離れたとき、青い海と緑の島々の風景が思い浮かび、良き思い出を頂いたふるさとが身をもって素晴らしく感じられるようになりました。はたまた帰る場所があるという事は幸せだと感じられるようになりました。

もし自分の子供がふるさとを離れることを決断した時、自分の子供たちをふるさとに引き留める事を出来る親はいないのでしょか?自分の子供たちがふるさとで良き思い出を育み、将来住みたいと思える場所を作ることがまちづくりにおいての終着点ではないかと考えています。

長きに渡りまちづくりを探求してきましたが2016年を一つの区切りとさせていただきます、その間ご指導頂いた先輩と地域の皆様、私たち三人の活動にご協力頂いた後輩達には深く御礼申し上げます。

卒業生代表 沢野 貴士

会員募集 あなたのチカラが因島を動かす

J Cってなに？

J C (青年会議所) は、活動の基本を「**修練**」「**奉仕**」「**友情**」に置き、会員は「**明るい豊かな社会を築き上げる**」ことを共通の理想としています。

社会への奉仕 (=Service) を通じて個人の資質を向上 (=Training) し、活動の中で友情 (=Friendship) を得ること。この三つの要素を併せ持つ団体は、他に類をみません。

入会すると？

- ポイント .1** 多くの仲間を作ることが出来ます！
- ポイント .2** 統率力や指導力が身につきます！
- ポイント .3** 様々な面で表現力が身につきます！
- ポイント .4** 会議の進め方や方法が習得出来ます！
- ポイント .5** 地域社会に対して貢献出来ます！
- ポイント .6** 沢山のOB会員の方と知り合えます！

たくさんのチャンスもあります！

- チャンス 1 出 向** 日本各地のJ Cメンバーと交流出来ます。因島から離れて、広島県内や全国の青年会議所メンバーと共に、ひとつり・まちつくりの様々な青年会議所活動を行うことができます。また、全国に約3万5千人いる会員と交流出来ます。
- チャンス 2 各種セミナー** セミナーを通して様々なことが学べます。因島青年会が主催する様々な講演・セミナー（例会）に参加することができます。また、日本青年会議所や他地域の青年会議所が主催するセミナーに参加することも出来ます。
- チャンス 3 国際交流** 世界各国のJ Cメンバーと交流出来ます。青年会議所活動は世界規模で行われています。世界約100カ国、20万人以上のメンバーが活動しています。

J Cに入って良かった点！

- ◆自分の人生で出会うことの出来なかったであろう人に沢山出会うことが出来た。(異業種の人、因島を引っ張って来られた先輩など)
- ◆今まで人前で喋ることが出来なかつたがうまく喋ることが出来るようになった。
- ◆青年会議所を通じて県内外の友人が沢山出来た。
- ◆基本的なパソコン操作の方法を自然に習得出来た。
- ◆自分の思いを表現出来るようになった。
- ◆自ら成長し、自分たちの手で因島を変えることが出来る点。
- ◆プレゼンテーションのスキルが身についたこと。
- ◆多くの時間を共に過ごしてきた仲間なので、卒業しても友人として良い関係を築くことが出来る点。

J Cに入って変わった点！

- ◆時間をうまく使うことが出来るようになった。
- ◆強くタフになった。
- ◆何事にも物怖じしない性格が変わった。
- ◆青年会議所以外の方(行政の方々など)と仲良くなった。
- ◆因島のことを因島に住む子ども達のことを真剣に考えるようになった。



活動報告について

「因島青年会議所」と検索していただくと、因島青年会議所公式ホームページ・公式Facebookページをご覧になれます。活動報告等掲載していますので閲覧してください！あわせて、いいね！フォローもお願いします！

- 因島青年会議所
- facebook <https://www.facebook.com/innohimajc/>
- HOME PAGE <http://innohimajc.com/>



ご紹介も大歓迎ですので、お気軽にお問合せください！すぐに説明に伺わせていただきます！例会等に、参加体験してもらうことも可能です！

連絡はこちらまで

■事務局 因島商工会議所内
〒722-2323 尾道市因島土生町 1762-38
TEL (0845) 22-6116
e-mail:insei@mx4.tiki.ne.jp



▶ ちびっ子のどしまん大会の様子

1980年に私たち因島青年会議所の先輩達が企画した「ちびっこ水軍まつり」がその始まりであり、因島大橋がまだ開通されていない当時、連休や祝日等、子どもと両親が共に楽しめるお祭りが何かないのか？という地域の要望に応える形で開催されました。その後、1988年に海と島の博覧会プレイベントとして開催された「因島・村上水軍時代絵巻フェスティバル」がその前身であり、当時の造船不況の中、因島の歴史に根付いた水軍をテーマとした観

因島水軍まつりのルーツを探る 当時の思いを継承する



▶ 現在の水軍まつりの様子

光業に着目し、1991年に現在の因島水軍まつりの始まりとなる第1回因島・水軍ふる里まつりが開催されました。そして、1993年に現在の形である「島まつり」「火まつり」「海まつり」の3部構成で開催されるようになり、現在もお祭りの一つである因島水軍まつりですが、その始まりは地域の人のちよつとした声なのです。その声を拾い上げ現在まで続いているお祭りとなったのです。現在活動を行っている私達因島青年会議所会員もまた、当時の先輩達のように地域の人たちの声をしっかりと受け止め、価値あるものを創造していきたいと思